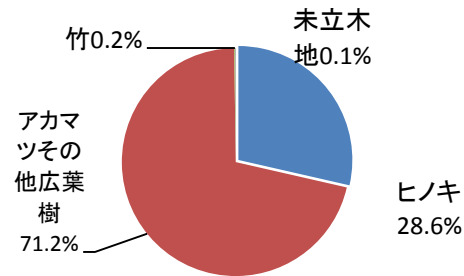


## 環境保全モデル林「美濃市古城山地区」概要書

- 1 所在地 美濃市字古城山4007-1他  
 2 面積 18.41 ha (森林簿)  
 3 土地所有者 美濃市

4 森林の状況

樹種	ヒノキ	アカマツ その他広 葉樹	竹	未立木地 草生地	計
面積(ha)	5.26	13.11	0.03	0.01	18.41
比率(%)	28.6	71.2	0.2	0.1	



全景写真



### 候補地の状況

- ・森林の状況としては、広葉樹、アカマツ、ヒノキ、竹等が生育している。
- ・北側は森林文化アカデミー演習林と接し、東側は国有林と接し、西側は個人有林と接している。
- ・標高は約120m～約340mまでで、個人有林と隣接している部分は比較的傾斜が緩やかである。
- ・現在、モデル林への通行は徒歩のみ可能である。北側の市道から接続する作業路があるが、倒木が多く車両の通行には補修が必要である。

### 市が考える活用イメージ

#### 【広葉樹利活用型】

- ・木質ペレット、薪の生産販売、しいたけ原木・きのこの生産販売。(美濃市内の保育所で平成24年度ペレットボイラー導入予定)
- ・竹林整備とたけのこ、竹炭、竹酢液、竹加工品の生産販売。

#### 【森林環境教育型】

- ・子供たちの森林環境教育の場として活用する。(近くに市立美濃小学校、県立武義高等学校あり)
- ・山頂までの散策路を設置し、北側の古城山遊歩道と接続し散策と学習の場として活用する。

### その他参考事項

県立武義高等学校、市立美濃小学校の隣接地であるため、子供達への環境教育の場としても期待できる。

### 県の現地調査結果

アカマツ林はマツ枯れが進行し、広葉樹林化している。また、竹林の範囲がヒノキ林まで拡大しており、手入れ不足の森林である。